

阿賀野川水系河川整備計画(原案) 自治体からの意見と考え方、対応について【阿賀川】

No.	ご意見・ご質問	要望者	ご意見などに対する考え方	原案 該当箇所	意見を反映した 追記、修正箇所
治水(洪水による災害の発生の防止又は軽減に関する事項)					
1	原案P56に内水被害の軽減とあるが、湯川洗堰下流に設置された農業排水路の樋門4門は、降雨時期になると内水被害が発生している。湯川洗堰の改修後の下流部の河床掘削が含まれていないようだが、洗堰改修後の水位を評価しているのか。	会津若松市	湯川洗堰下流の放水路区間は計画河床高で掘削を完了しております。今後も河道状況を監視し、必要箇所の対策を実施していきます。	(原案) p56 p134	-
2	河道断面が確保されていても、河道内樹木によって流速が緩やかになった分、水位があがる可能性がある。住民の中には排水ポンプの設置を求める声もあるので、何らかの対応をお願いしたい。	会津若松市	内水対策については、排水ポンプ車の派遣等、維持管理の中で対応を行ってまいります。	(原案) p134 p169	-
3	原案P58に、樹林化が進んだ要因として砂利採取とあるが、分かりやすく具体的に教えてほしい。	会津坂下町	砂利採取は河道の中でも比較的とりやすい低水路で行われていることが多いため、低水路の掘削を行うことにより高水敷との比高差が拡大し、高水敷の冠水頻度が低くなることで樹木が流出せず、樹林化が進行したことが要因と考えられます。	(原案) p58 p92	-
4	住民からの要望が多かったが、堤防を高くするのではなく、河床を下げられないか。昔はもっと河床が低かったようである。定期的な堆積土砂の撤去や樹木の伐採を行った方がよいと考える。	湯川村	河道内の樹木繁茂や土砂堆積により、流下能力が不足している区間については、河道状況を確認しつつ河道掘削・整正、樹木伐採を行います。水衝部の原因となっている樹木群が発達している箇所や、砂州の固定により河床洗掘、侵食が進行している箇所については、河道状況を確認しつつ、河道掘削・整正、樹木伐採を行います。河道掘削・整正、樹木伐採に際し、環境に配慮しつつ行っていきます。	(原案) p44 p58,59	-
維持管理(河川の維持に関する事項)					
5	立木等は規模が大きくなると対策が難しくなるので、早めの対応をお願いしたい。	湯川村	河道内の樹木繁茂により、流下能力が不足している区間については、河道状況を確認しつつ樹木伐採を行います。水衝部の原因となっている樹木群が発達している箇所や、砂州の固定により河床洗掘、侵食が進行している箇所については、河道状況を確認しつつ、河道掘削・整正、樹木伐採を行います。また、河道内樹木の伐採に際し、環境に配慮しつつ行っていきます。	(原案) p92	-
6	樹木が繁茂した原因は、住民の生活環境の変化も要因として挙げられるのではないかと。昔は近隣住民の燃料として樹木が活用されていたが、それがなくなったのも要因の一つである。原案に時代の背景を記載し、説明した方がよいのではないかと。	会津若松市	P59 図3.72 河道内樹木面積の経年変化のグラフの上部に、沿川住民による河道内樹木の利用について記載しております。	(原案) p58 p92	-
7	ダムや堤防の延命化・長寿命化について具体策を考えているか。	会津若松市	河川管理施設については、日常的に点検・整備を行い、施設の機能に不具合等が生じた場合は、診断を行い必要な補修・更新を実施してまいります。また、施設の修繕にあたっては、施設の信頼性の向上や延命化(長寿命化)につながるような補修・更新を実施していきます。	(原案) p163	-

阿賀野川水系河川整備計画(原案) 自治体からの意見と考え方、対応について【阿賀野川】

No.	ご意見・ご質問	要望者	ご意見などに対する考え方	原案 該当箇所	意見を反映した 追記、修正箇所
治水(洪水による災害の発生の防止又は軽減に関する事項)					
1	松浜みなどの飛砂対策について地元から要望がある。市では過去にアキグミの苗木を地元へ支給しており、根付いてきている。飛砂対策についても、整備計画のなかに入れてもらいたい。	新潟市	河川事業としての飛砂対策は難しいですが、今後関係機関と協議して、可能な対応について検討いたします。	-	-
2	水衝部のことを地元は心配している。水衝部対策の工事が行われた以降、どのような状況になっているか地元へ情報提供してもらとうよい。効果は目で見てわからないため、わかりやすくPRしてもらとうよい。	新潟市 阿賀野市	パンフレットなどにより、地域の方にわかりやすい情報提供を工夫していきます。	(原案) p53～55 p136	-
3	河口部は掘削しないのか。	新潟市	過去の出水やH23出水においても河口部の砂州が洪水中に流出することが確認されています。今後もモニタリングを継続します。	(原案) p160	-
4	平成23年の出水時には、古川樋門、藤戸川、小松大沢川樋門付近で内水被害が発生した。市でも消防ポンプなどで対応はしてみたが、とても追いつかなかった。内水対策をお願いしたい。	阿賀野市	阿賀野川本川と支川の藤戸川との合流点付近については、支川管理者と連携した、現況調査、検討を行います。排水ポンプ車の効率的運用、河道掘削・樹木伐採による本川水位の低下などにより内水被害の軽減に努めているところですが、被害実態や河道の整備状況、緊急度等を踏まえ、支川管理者に協力して可能な支援を検討します。	(原案) p137 附図4	(原案) 附図p4に 「支川管理者と 連携した調査、 検討」 を追記
5	附図の整備予定箇所のうち優先度はどのように考えているのか。また伐採計画なども事前に示すことができれば意見がでるかもしれない。	阿賀野市	上流の新潟県区間の整備による流量増に対応できるように、河道掘削や無堤部の築堤を行い、その後は、整備計画目標流量に対応した整備を下流から上流に向かって進めていくことを予定しています。伐採について具体的な実施箇所等までは本計画には記載していないため、樹木の状況を把握し、管理上支障となる樹木の伐採については、地域の方にも説明したうえで進めていきたいと思います。	(原案) p131	-
6	附図に浸透対策が必要な区間が記されているが、この区間はすべて浸透や漏水に対して危険ということか。	五泉市	代表断面でのボーリング結果などをもとに、同様な地質構成と想定される区間を一連として評価していますが、実際に対策工事を行う前には、詳細な地質調査等を行い、精査してから実施することになります。	(原案) p132 附図	-
7	太田川のポンプの整備と弱小堤対策の推進をお願いしたい。	五泉市	太田川の内水対策については、支川管理者と協議、連携し、整備計画にも位置づけて進めていきます。また、堤防の高さ、幅が基準に満たない区間においては堤防整備を進めていきます。	(原案) p129 p137	-